

1 曲線  $C: y = x^2$  上の点を  $P$  とする。ただし  $P$  の  $x$  座標は正とする。点  $P$  における  $C$  の接線を  $l$ 、点  $P$  を通り  $l$  に垂直な直線を  $m$  とする。直線  $m$  と曲線  $C$  が  $P$  とは異なる交点をもつとき、その点を  $Q$  とする。点  $P$  が曲線  $C$  上を動くとき、以下の問に答えよ。

(1) 点  $Q$  における  $C$  の接線を  $n$  とし、 $l$  と  $n$  との交点を  $R$  とする。点  $R$  の座標を  $(p, q)$  とするとき

$$q = \frac{\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{ク}}} p^2 + \frac{\boxed{\text{ケ}}}{\boxed{\text{コ}}}$$

が成り立つ。

(2) 曲線  $C$  と線分  $PQ$  で囲まれる部分の面積の最小値は  $\frac{\boxed{\text{サ}}}{\boxed{\text{シ}}}$  であり、そのときの点  $P, Q$  の座標は

$$P\left(\frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}}}, \frac{\boxed{\text{ソ}}}{\boxed{\text{タ}}}\right), \quad Q\left(\frac{\boxed{\text{チ}}}{\boxed{\text{ツ}}}, \frac{\boxed{\text{テ}}}{\boxed{\text{ト}}}\right)$$

である。

(早稲田大学 2016)



2016年 人間科学学部 (文系) 第3問

3 曲線  $C: y = x^2$  上の点を  $P$  とする。ただし  $P$  の  $x$  座標は正とする。点  $P$  における  $C$  の接線を  $l$ 、点  $P$  を通り  $l$  に垂直な直線を  $m$  とする。直線  $m$  と曲線  $C$  が  $P$  とは異なる交点をもつとき、その点を  $Q$  とする。点  $P$  が曲線  $C$  上を動くとき、以下の問に答えよ。

(1) 点  $Q$  における  $C$  の接線を  $n$  とし、 $l$  と  $n$  との交点を  $R$  とする。点  $R$  の座標を  $(p, q)$  とするとき

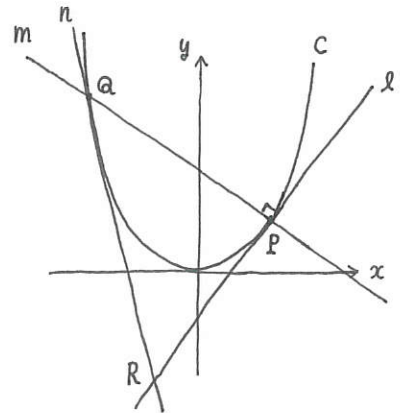
$$q = \frac{\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{ク}} 16} + \frac{\boxed{\text{ケ}}}{\boxed{\text{コ}} 2} - 1$$

が成り立つ。

(2) 曲線  $C$  と線分  $PQ$  で囲まれる部分の面積の最小値は  $\frac{\boxed{\text{サ}}}{\boxed{\text{シ}}} \frac{4}{3}$  であり、そのときの点  $P, Q$  の座標は

$$P\left(\frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}}}, \frac{\boxed{\text{ソ}}}{\boxed{\text{タ}}}\right), \quad Q\left(\frac{\boxed{\text{チ}}}{\boxed{\text{ツ}}}, \frac{\boxed{\text{テ}}}{\boxed{\text{ト}}}\right)$$

である。



(1)  $P(t, t^2)$  ( $t > 0$ ) とおくと、 $y' = 2x$  より

$l$  の傾きは  $2t$

$$\therefore m: y = -\frac{1}{2t}(x-t) + t^2$$

$$\therefore m: y = -\frac{1}{2t}x + \frac{1}{2} + t^2$$

$$x^2 + \frac{1}{2t}x - \frac{1}{2} - t^2 = 0$$

解と係数の関係より、 $Q$  の  $x$  座標を  $s$  とおくと、 $s+t = -\frac{1}{2t} \therefore s = -t - \frac{1}{2t}$

$$\therefore n: y = (-2t - \frac{1}{t})(x + t + \frac{1}{2t}) + (-t - \frac{1}{2t})^2$$

$$n: y = (-2t - \frac{1}{t})x - 2t^2 - 1 - 1 - \frac{1}{2t^2} + t^2 + \frac{1}{4t^2} + 1$$

$$\therefore n: y = (-2t - \frac{1}{t})x - t^2 - \frac{1}{4t^2} - 1 \quad \dots \textcircled{1}$$

$$l: y = 2tx - t^2 \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{ より } P = (-\frac{1}{4t}, \frac{1}{4}) \text{ , } Q = (-\frac{1}{2} - t^2, t^2)$$

$$\therefore t \text{ を消去して } Q = (-\frac{1}{16p^2} - \frac{1}{2}, p^2)$$

相加・相乗平均の関係より。

$$2t + \frac{1}{2t} \geq 2\sqrt{2t \cdot \frac{1}{2t}} = 2$$

等号成立は  $t = \frac{1}{2}$  のとき。

$$\therefore s \geq \frac{1}{6} \cdot 2^3$$

$$\therefore \text{最小値 } \frac{4}{3}$$

$$P(\frac{1}{2}, \frac{1}{4}), Q(-\frac{3}{2}, \frac{9}{4})$$

$$(2) S = \int_{-t-\frac{1}{2t}}^t -(x-t)\{x-(-t-\frac{1}{2t})\} dx = \frac{1}{6} (2t + \frac{1}{2t})^3$$

$\uparrow$   $\frac{1}{6}$ 公式